

親の老後を考える [32]

新たなライフステージに備えて

コミュニティの中で 元気に年を重ねよう

超高齢化という危機 乗り超える秘策とは？

2000年の介護保険スタート時には介護の総費用は3.6兆円だったが、団塊世代が75歳以上になる2025年には20兆円を超える見込み(厚生労働省)。財政難から介護保険法改正のたびに利用者負担を増やされては、要介護になつたとき、サービスが利用できるのか不安になるが、高橋さんは「要介護になつたとはにこやかに語る。」



昨年10月、大阪市淀川区にオープンした駅前再開発型の「ゆいま〜る福」(サ高住/53室)。敷地内の図書室では、まちライブラリーのイベントが開かれ、入居者が近所の子どもたちに読み聞かせをしていた。提供:(株)コミュニティネット 広報室

今年5月、改正介護保険関連法が成立し、来年8月から現役並みの所得のある利用者の自己負担が3割に引き上げられる。さらに今年8月からは、40〜64歳が支払う介護保険料も収入に応じて負担増…。介護不安は高まるばかりだが、高橋さんは「ピンチをチャンスに変えよう」と話す。



株式会社コミュニティネット 代表取締役 高橋英興さん
たかはし・ひでよ/1948年岩手県花巻市生まれ。1983年、生活科学研究所(現・生活科学運営)を設立。コーポラティブハウス、有料老人ホーム、高齢者向け住宅などを各地に建設・運営する。2006年株式会社コミュニティネット代表取締役に就任、「ゆいま〜るシリーズ」を展開。

取材協力
株式会社コミュニティネット
東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町電気ビル南館5階
☎03-6256-0574
https://c-net.jp/

「コミュニティの中で喜びが生まれる」というわけで、高橋さんが社長を務めるコミュニティネットが全国10カ所に展開する「ゆいま〜るシリーズ」(サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)/有料老人ホーム)には、要介護にならないための工夫がいろいろ。例えば古いUR団地の空室をサ高住にしたり、若者向けシェアハウスを混

在させたりして助け合いの仕組みをつくる「団地再生型」や、駅前再開発型など様々。一貫しているのは「自立型、地域開放型」という点だ。「健康なうちに入居し(自立型)、敷地内の食堂や図書室などを地域に解放、一緒に利用してもらおう(地域開放型)。そして時間をかけて、地域ぐるみの支え合い助け合いのコミュニティを育てていきたいと思います。すると仲間のいる喜びというのか、元気に年を重ねる方が多い。中には働く入居者もいて、生涯現役の高齢者コミュニティとして注目を浴びている。」

【取材を終えて】取材・文 渡部せつ子
「世話をしすぎたら人間はダメになる。社員も、ぼくみたいなダメダメ社長のほうが成長する」と笑う高橋さん。ちなみに関西圏の「ゆいま〜る」は、神戸市の「伊川谷」と大阪市の「福」の2カ所。取材に伺うと、確かに食堂や図書室には近所の中高年や子育て世代が入居し、誰が入居者か近所の人か見分けがつかない。高橋さんの理想を垣間見た気がする。

親の老後を考える

こだわって選びたい
「安心できる有料老人ホーム」

「私たちがお一人おひとりに寄り添い、よろこびのある暮らしをサポートします」

「グッドタイムリビング」は、オリックス・リビングが首都圏と関西圏に展開する有料老人ホーム。上質なケアはもちろんです。よろこびのある暮らしを提供する高齢者の住みやすいとして人気を呼んでいる。「グッドタイムリビング千里ひなたが丘」に新たに29室を追加オープンすると聞いて、取材に出かけた。

(取材・文: 渡部せつ子 撮影: 宮崎有沙)

広いパブリックスペースから生まれる 趣味や交流、生きるよろこび

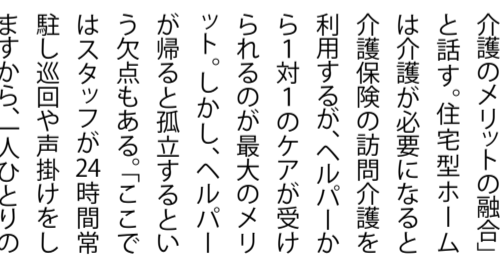
丘の上に立つ洒落た6階建て。エントランスに入ると、明るく洗練された空間の広がりを目を奪われる。社会福祉士が入居相談担当の木村さんは「こちらにお見えになると皆さん、レストランやクラブサロンなどパブリックスペース共用施設の充実ぶりに驚かれますが、これがそがオリックスの高齢者の住まいの特徴なのです。」と話し、心温まるエピソードを紹介してくれた。



クラブ活動の部屋クラブサロンは1階に3室あり、毎日4〜6種類の講座が開かれる。人気の「パルーンアート教室」。

「珈琲タイム」はカップの制作からサイフォンによる香り高いコーヒーをいれるまでを楽しむ。最後は、新たにオープンする4階を案内していただく。共用のリビングダイニング、浴室(個別)があり、各居室はトイレ、洗面化粧台、家具、収納などを備えた上品な設備。ペランダからの眺めは圧巻で、まるで南フランスにいるような雰囲気。今月1日から内覧会が開かれるので、ぜひ、あなたの五感で体感してみてください！

1対1の訪問介護と施設介護を融合 ケアの特徴を木村さんは「訪問介護と施設ケアの両方を融合し、自分らしい暮らしと施設のような安心感の両方をサポートします。」と話す。住居型ホームは介護が必要になると介護保険の訪問介護を利用するが、ヘルパーから1対1のケアが受けられるのが最大のメリット。しかし、ヘルパーが帰ると孤立するという欠点もある。「ここではスタッフが24時間常駐し巡回や声掛けをしますから、一人ひとりのケアのニーズに合わせた対応が実現されています。」



クラブ活動の部屋クラブサロンは1階に3室あり、毎日4〜6種類の講座が開かれる。人気の「パルーンアート教室」。

「病院で寝たきりだった80代の女性が入居された」と話し、心温まるエピソードを紹介してくれた。



左)広いエントランスにはゆったりとしたソファが置かれ上質な空間が広がる。入居者同士や家族、スタッフなどの交流が生まれる重要なスペース。右)フロントは毎日9時〜18時まで、さまざまな相談に対応。



左)グッドタイムリビング定番のビューティーサロン。カット、パーマ、ヘアカラー、メイク、ネイル、ヘッドスパもあり、いつまでもおしゃべりを楽しみたいゲストの願いを叶える(有料)。右)ゲストと信頼関係を築くケアスタッフ。



左)パーティールームは今まで自宅でしていたお祝い事や法要などに利用できる。右)南側全面ガラス窓の開放感あふれるレストラン。毎食(朝・昼・夕)2種類から好きなメニューが選べ、週に1度はスペシャルメニューが楽しめる。

7/1(土)〜7/17(月・祝)
新規フロア(4階)内覧会開催
ご希望の日時をお知らせください
事前に予約にて承ります。
お申込み・お問い合わせは
オリックス・リビング カスタマーセンター
☎0120-135-166
受付/9時〜18時(毎週水曜、元日を除く)



グッドタイム リビング
千里ひなたが丘
吹田市千里丘西15-20
☎0120-135-166
http://www.orixliving.jp/
guesthouse/project23/
JR「千里丘」駅・阪急「山田」駅 シャトルバスあり
JR京都市線「千里丘」駅より吹田市コミュニティバス「千里ひなたが丘前」バス停下車徒歩約1分(約80m)、または「吹田徳洲会病院前」バス停下車徒歩約4分(約280m)、または徒歩約17分(約1.3km)

【概要】●類型/住宅型有料老人ホーム●居住の権利形態/利用方式●利用料の支払い方式/一時金方式●入居時の要件/概ね65歳以上●入居時 自立・要支援・要介護●介護保険/在宅サービス利用可能●居室区分/全室個室(一部二人部屋(ただし相部屋ではない))●土地・建物の権利形態/所有●事業主体/オリックス・リビング株式会社 〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル※当社は、オリックス株式会社の連結決算対象会社です。(広告有効期限/2017年7月31日)

こちらに伺いました/
オリックス・リビング株式会社
入居相談担当(社会福祉士) 木村 友哉 さん
1985年生まれ。大学で福祉を学び、2007年入社。「両親が共働きでしたので、祖父が保育園の送り迎えや遊び相手をしてくださいました。私が中学生のとき祖父は亡くなったのですが、それをきっかけに人生や死について深く考えるようになり、高齢者福祉の道に進みました。」

